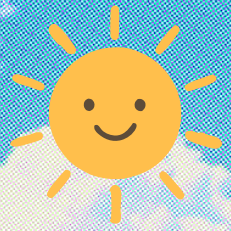


安全管理室だより 8 vol. 103



アサーティブコミュニケーションとは、攻撃的でもなく、自分の意見を尊重しつつ、相手の意見も大切にする **バランスの取れたコミュニケーション方法**です。

忙しいけど
確認してもらえますか？



お互いを尊重しながら
意見を伝えるのが
**アサーティブ
コミュニケーション**
です！

ありがとう。
確認しましょう！



アサーティブ コミュニケーション について学ぼう

《 4つの柱 》



① 誠実

自分にも相手にも
正直であること



② 率直

自分の意見を隠さず、
飾らず、ストレートに
伝えること



③ 対等

お互いに上下関係を意識せず、
対等な立場で向き合うこと



④ 自己責任

自分の言動に責任を持ち、
その結果を受け入れる姿勢

《 3つのタイプ 》



攻撃的 (アグレッシブ)



私の言う通りにして！

アグレッシブなコミュニケーションは、自分の意見や考えを強く押し通し、他者を無視した自己中心的なスタイルです。このタイプは自己防衛の心理から、相手をコントロールしようとする傾向があります。その結果、相手との関係が悪化し、周囲から反感を買い、サポートを得られなくなります。



受動的 (ノンアサーティブ)



言いたいけど
言えない...

ノンアサーティブコミュニケーションは、自分の意見を抑え込み相手を優先するスタイルです。自己主張が出来ず、理不尽な要求にも従ってしまうため、ストレスや劣等感を抱える傾向があります。一見、相手を尊重しているようですが、実際には人に嫌われたくないという自己保身があり、結果的に自己中心的ともいえます。



適切な主張 (アサーティブ)



私はこう思います。
あなたは
どうですか？

アサーティブなコミュニケーションは、自分の意見を率直に伝えつつ、相手の意見も尊重する **バランスの取れた**スタイルです。一方的に自分を押し通すことも、相手に迎合することはありません。双方が納得できる結論を目指すため、建設的で良好な関係を築く事ができます。

あなたは
どのタイプ
ですか？



ぜひ振り返ってみましょう！

目指すのは **Win-Win!**

患者さんの安全のために
「言える・聞ける・相談できる」
職場づくりを心がけましょう！

言える



聞ける



相談できる



7月のGoodJob報告

ADL全介助の患者様、ベッド上方2点柵使用中
訪室時に左下肢がベッドから落ちている状態
で発見。すぐに体位を整え転落を防ぐことが
できた。食後、ベッドアップされたままで
ポジショニングが甘く左下肢が落ちたと考え
直ちにカンファレンスを行い情報共有を行い
ベッドアップ時のポジショニングの検討、2点
柵から3点柵へ変更。

考 察

日頃の観察と迅速な対応により、転落を未然に
防ぐことができました。さらにチームで原因を
振り返り、ポジショニングや環境を見直したことで
安全なケアにつながる実践となりました。「異変に
気づく」「チームで改善する」という行動が、
Safety IIの実践そのものです。これからもうまうい
った実践をチームで共有し患者様、利用者様の安全を
支えていきましょう。

